

人生の謎を解く (6)  
—人はどこへ行こうとしているのか—

イントロダクション

(1) これまでの復習

- ① 「人はどこから来たのか」  
\*進化論ではなく、創造論。
- ② 「人はなぜ苦難に会うのか」  
\*神への反逆 (創3章)  
\*神の解決策 (創3:15)
- ③ 「イエス・キリストとは誰か」  
\*イエスは救い主 (メシア、キリスト) である。
- ④ 「なぜ十字架が重要なのか」  
\*罪の代価が支払われた。  
\*世 (罪人) を神と和解させた。
- ⑤ 「復活は歴史的事実か」  
\*弟子たちの命がけの証言があった。

はじめに

(1) 「人はどこへ行こうとしているのか」

(例話) ミステリーツアー

【天王寺・なんばパークス・梅田発】 トイレ付バス利用！〇〇湾をめぐる離島ミステリー

(2) 多くの人にとって、人生そのものがミステリーツアーである。

- ①次に何が起こるのか、常に不安である。
- ②それゆえ、哲学があり、宗教がある。
- ③死んで復活されたイエス・キリストの証言だけが、確実なものである。  
(例話) 旧市街のユダヤ人地区とアラブ人地区

(3) 成長セミナーの第9課「人生のパノラマ」を参照のこと

- ①人間には、7つの段階が用意されている。
- ②今置かれている段階から、次の段階を想像することは、非常に難しい。

1. 胎児

- (1) 人間は、神の作品である。

「あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書きしるされました。私のために作られた日々が、しかも、その一日もないうちに」(詩 139:16)

(2) ヒトの産科医療では妊娠第8週目から胎児という。

①それ以前は胎芽

②聖書的には、受精の瞬間から、それは人間である。

## 2. 人間としての誕生

(1) 人生の諸体験の中で、最も危険、かつ劇的なものが出生体験である。

①チャド、ソマリア 10万件中1千件以上(妊産婦の死亡率)

②2007年の厚労省のデータ。過去10年間の平均。

\*最も低い広島が出生10万件あたり1.84人

\*最も高い京都は10.70人

\*西日本は低くて東日本で高い東西格差が浮かび上がった。

(2) 胎児の状態とは全く異なった存在形態に移行する。

①呼吸を始める。

②乳を飲み始める。

③人格的交流を求め始める。

(3) 胎児は、このような世界があることを理解できない。

## 3. 新生体験

(1) 新生体験を経て、霊的いのちが活動し始める。

①ただし、この段階を経験しない人もいる。

②生まれながらの人間は、霊的いのちがあることを信じるできない。

(2) イエスとニコデモの対話

「イエスは答えて言われた。『まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません』」(ヨハ 3:3)

①新生の必要性

②新生の神秘性

(3) 肉体の誕生と霊の誕生には相関性がある。

①苦痛(イエスの十字架)

- ②呼吸（祈り）
- ③乳（みことば）
- ④交流（交わり）

#### 4. 肉体の死

- (1) 死は消滅ではない。
  - ①死とは、関係の断絶である。
  - ②肉体は朽ちるが、魂（霊）は生き続ける。
  
- (2) 聖書が教える3つの死
  - ①霊的な死（地上生涯において経験する神との断絶）
  - ②肉体の死（肉体と霊の分離）
  - ③永遠の死（罪人の最終的な運命）
  
- (3) 死後の世界
  - ①旧約時代は、死者の魂はすべてシオール（ハデス）に行った。
  - ②シオールには、苦しみ場所と慰め場所があった。
    - \*慰め場所は、パラダイス、あるいはアブラハムのふところ。
    - \*信者はパラダイスに、不信者はシオールそのものに行った（ルカ 16:19 以降）。
    - \*両者の間を行き来することは不可能。
  - ③イエス・キリストの復活と昇天以降、パラダだけが第三の天にまで引き上げられた。
  - ④今の時代、信者が死ぬと、その魂は天にあるパラダイスに行く。

「私は、その二つのもの間に板ばさみとなっています。私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。実はそのほうが、はるかにまさっています」(ピリ 1:23)
  
- (4) 罪人の運命
  - ①人は、その人に与えられた光の量によって裁かれる。
  - ②ハデスにおいて、罪の軽重はある。
  - ③第二のチャンスはない。

#### 5. 復活

- (1) 死んでから、新しい肉体に甦るまでを中間状態と言う。
  - ①この間も、人は意識を持ち続け、祝福の生活を送ることができる。
  
- (2) 携挙の時に、復活の体を与えられる。

「けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです」(ピリ 3:20、21)

- ①生きている人は、そのまま空中に引き上げられる。
- ②死んだ人は、復活する。

(3) 信者の裁きがなされる。

- ①これは、罪の裁きではなく、報酬の裁きである。
- ②さまざまな冠がある。

「朽ちない冠」(1 コリ 9:25)

「喜びの冠」(1 テサ 2:19)

「義の冠」(2 テモ 4:8)

「いのちの冠」(ヤコ 1:12)

「栄光の冠」(1 ペテ 5:4)

## 6. 千年王国

(1) 7年間の大患難時代

- ①これは、不信仰と罪の裁きの期間である。
- ②教会はすでに天に上げられている。

(2) キリストの地上再臨

- ①再臨の条件は、イスラエルの救い。
- ②王としてのキリストが地上に来られ、メシア的王国を設立される。
- ③イエス・キリストの再臨に関しては、新約聖書では300回以上の言及がある(25節に1回の割合)。

(3) 千年王国の特徴(イザ 11:6~9)

- ①自然界の秩序が回復される(ローマ 8:18~22)。
- ②神の民は、王なるキリストとともに、千年の間、その王国を支配するようになる。
- ③戦争の廃絶
- ④病の消滅

## 7. 永遠の世界

(1) 千年王国の終わりに、白い御座の裁きが行われる。

①サタンと罪人は、火の池に投げ入れられる（黙 20:7～15）。

(2) 黙示録 21、22 章に預言されている祝福が実現する。

①神の民にとって、永遠に変わる事のない祝福がやって来る。

### まとめ

以下の質問に答えましょう。

(1) キリストの再臨が確実に起こると考えられる理由は何ですか。

(2) あなたの考えでは、世の終わりは近いと思いますか。またその理由は何ですか。

(3) 再臨の日時を定めることは正しいですか、間違いですか。その理由は何ですか。

以上で、ハーベスト聖書入門講座を終わります。さらに、聖書を詳しく学びたい方は、お問い合わせください。

【ハーベスト・タイム・ミニストリーズ】

〒410-1115 静岡県裾野市千福が丘 1-21-85

TEL 055-993-8880 FAX 055-993-8883

<http://www.harvesttime.tv>